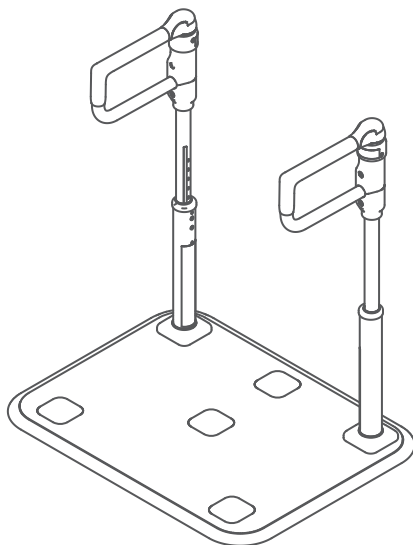
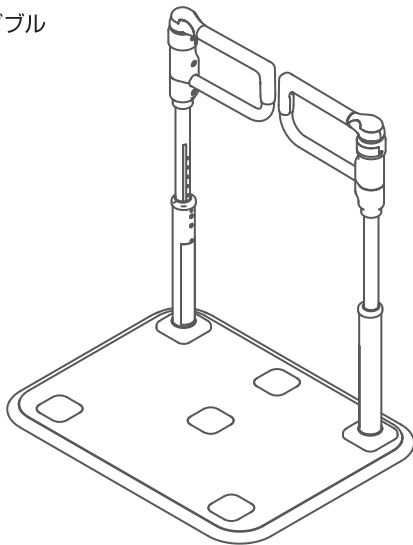


取扱説明書

歩行サポート手すり スムーディ<屋内用> らくらくダブル 家庭用

XPN-L80819
屋内用らくらくダブル



☐ 屋内用らくらくダブル	品番	XPN-L80819
☐ 屋内用らくらくダブル片側アーム	品番	XPN-L80820
☐ 屋内用らくらくダブル両側アーム	品番	XPN-L80821
☐ 屋内用らくらくダブル右	品番	XPN-L80822
☐ 屋内用らくらくダブル右片側アーム	品番	XPN-L80823
☐ 屋内用らくらくダブル左	品番	XPN-L80824
☐ 屋内用らくらくダブル左片側アーム	品番	XPN-L80825

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
同梱品の確認	5
各種部品表	6
手すりを組み立てる	7
使いかた	9
組み立て・設置確認	10
お手入れのしかた	11
修理を依頼される前に	12
仕様	13
製品寸法図	13
別売品	14
製品の長期使用について	14
保管方法	15
保証とアフターサービス	15
お客様ご相談窓口のご案内	16

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～4ページ)を必ずお読みください。
- ベース6078に付属の保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

転倒、事故、けが
などを防ぐために

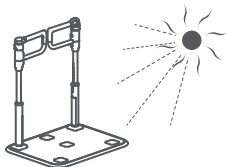


本製品を、歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>と連結して使用する場合、歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>の取扱説明書もあわせてご確認ください

手すりを設置する際は



- 屋外に設置しない
(変形、破損の原因)



- 取扱説明書記載の指定品番内の組み合わせ以外で組み立てしない
(けがの原因)

手すりを設置する際は



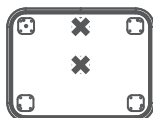
- 支柱は指定の位置に取り付ける
(転倒によるけがの原因)

- 手すりを2本設置する際は1枚のベースに対し右手すり、左手すりを必ず1本ずつ取り付ける
※右手すりの2本設置、左手すりの2本設置はしない
(窒息、骨折の原因)

- 手すりを2本設置する際、×の位置は使用しない

屋内用ベース 6078
(×は使用しない箇所)

※正しい支柱取り付け位置は
12パターンあります。(P.7 参照)



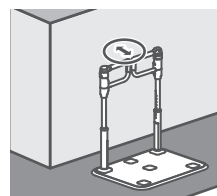
※ ①屋内用標準ベース、モデルベースに本製品は取り付けできません
②スムーディ<屋内用>らくらくダブル以外の支柱は、ベース 6078 に取り付けず、使用できません



- 設置後、下支柱のガタつき、ネジのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する
(転倒によるけがの原因)

- 利用者がベースを踏みながら使用できるように設置する
(転倒によるけがの原因)

- 壁際に設置する場合は、壁と手すりとの間が110mm未満または350mm以上になるように設置する
(窒息、骨折の原因)



- 設置後、必ず組み立て・設置確認(P.10)をチェックする
(事故の原因)

手すりを設置する際は



- 向かい合う各手すりのすき間に頭や首・腕など体を入れない
(窒息、骨折の原因)



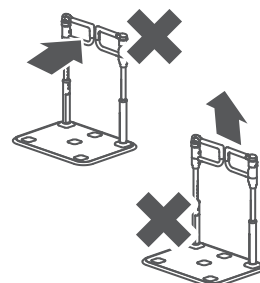
- 下支柱から手すりを取り外し、上支柱の左右を入れ替えて使用しない
(転倒によるけがの原因)



- 柔らかい床面、凹凸、段差、傾斜のある床面では使用しない

- 水平方向に力を加えて使用しない

- 手すりの回転機能を使用しない場合、手すり部を引抜き方向に力を入れない
(転倒によるけがの原因)



安全上のご注意

必ずお守りください

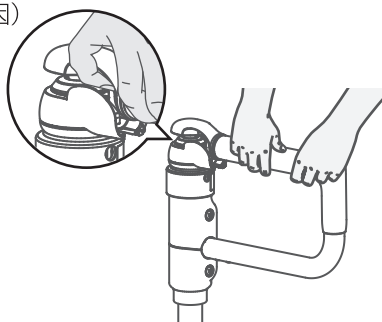
！ 警告

転倒、けが
などを防ぐために



手すりを使用する際は

- 手や腕、足など体が濡れた状態で使用しない
- ベースや手すり部が濡れた状態で使用しない
- 手すり部を引き上げて使用するおそれのある利用者は回転規制なしの状態で使用しない (P.9 を確認)
(転倒によるけがの原因)
- 手すり以外の目的で使用しない
- 子ども、幼児を遊ばせたり手すりにぶら下がったりしない
- 2人以上で同時に使用しない
(変形、破損によるけがの原因)
- 想定安全使用期間(8年)を越えた製品は使用しない(P.14 を確認)
(劣化、破損による事故の原因)
- 手すり部を動かしている際は、手すりの可動部に指を入れない
- 連結した状態で手すり部を動かす際は、屋内用アームとのすき間に、指を入れない
(指はさみ、骨折の原因)

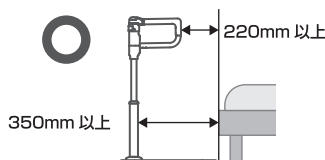


- 利用者の身体状況、設置環境にあったフィッティングを行い、手すり高さ、動線確認を行う
- ベースを設置面に固定しない製品のため設置後の安全性を確認の上、使用する
(転倒によるけがの原因)
- 手すり部表面にひび割れなどの劣化がないことを確認して使用する
(けがの原因)
- 暗闇など手すり位置を認識できない状態での使用は十分に注意する
(転倒によるけがの原因)
- 利用者の状況(安全に使用できるか)を確認し、介助が必要な場合は介助者が付き添うなど安全に十分注意する
(事故の原因)
→ 適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。

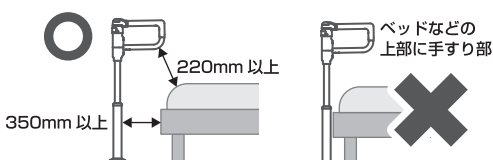
ベッドサイドで使用する際は

- 電動ベッドに装着しているサイドレールやベッド用グリップ(介助バー)と組み合わせて使用する場合は、すき間に首や手足を入れない
(窒息、骨折の原因)
- 安定性を確認して使用する
(転倒によるけがの原因)
- キャスター付きのベッドで使用する場合は、必ずベッドのキャスターを固定する
(はさまりによる窒息、骨折や転倒によるけがの原因)
- 折りたたみベッドで使用する場合は、ベッドの折りたたみ機構を必ずロックして使用する
(変形・破損・転倒によるけがの原因)
- 電動ベッドに並列して設置し使用する場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認する
(特殊寝台など、本製品が使用できない場合がある)
- 電動ベッドに並列して設置し使用する場合は、利用者がはさまれない安全な位置に設置する
- 電動ベッドに並列して設置し使用する場合は、手すりに頭や手足が入っていないことを確認し電動ベッドを操作する
→ ベッド近くで使用する場合は、利用者がはさまれない安全な位置に設置して使用してください
- 布団やベッドサイドなどで手すりを使用する場合は、手すりとのすき間に頭や腕が挟まらないよう
下支柱とのすき間を 350mm 以上、
手すり部とのすき間を 220mm 以上
それぞれ離して設置し使用する

電動ベッド



据え置きベッドなど



- 布団やベッドサイドなどで手すりを使用する場合は、手すり部をすき間なくくっつけるか、350mm 以上離して設置する
(窒息、骨折の原因)



安全上のご注意

必ずお守りください

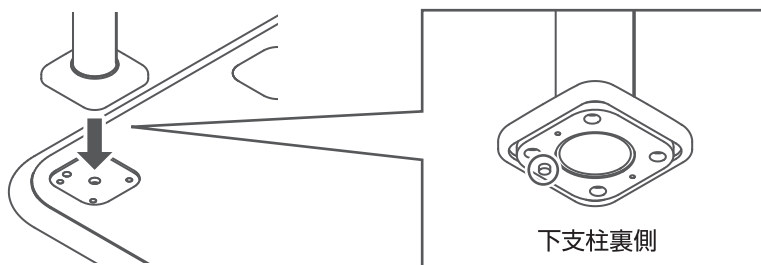


転倒、破損、劣化
などを防ぐために



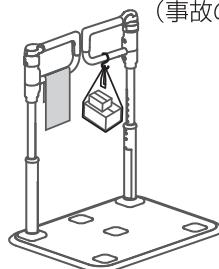
組み立ての際は

- ベースおよび手すり部は必ず指定の位置に指定のネジで固定する
- 持ち運びの際は製品が落下しないように注意する
(変形・破損の原因)
- ネジはネジ穴に対してまっすぐ締め付ける
(破損の原因)
- 組立は納入業者がおこなう
(事故の原因)
- 手すりの高さ調節を行う際は、上支柱を持ち上げながら行う
(落下によるけがの原因)
- ベースに下支柱を取り付ける際は、取り付け向きに注意する(P.7 下支柱の取り付け位置を確認)
(変形、破損による事故の原因)

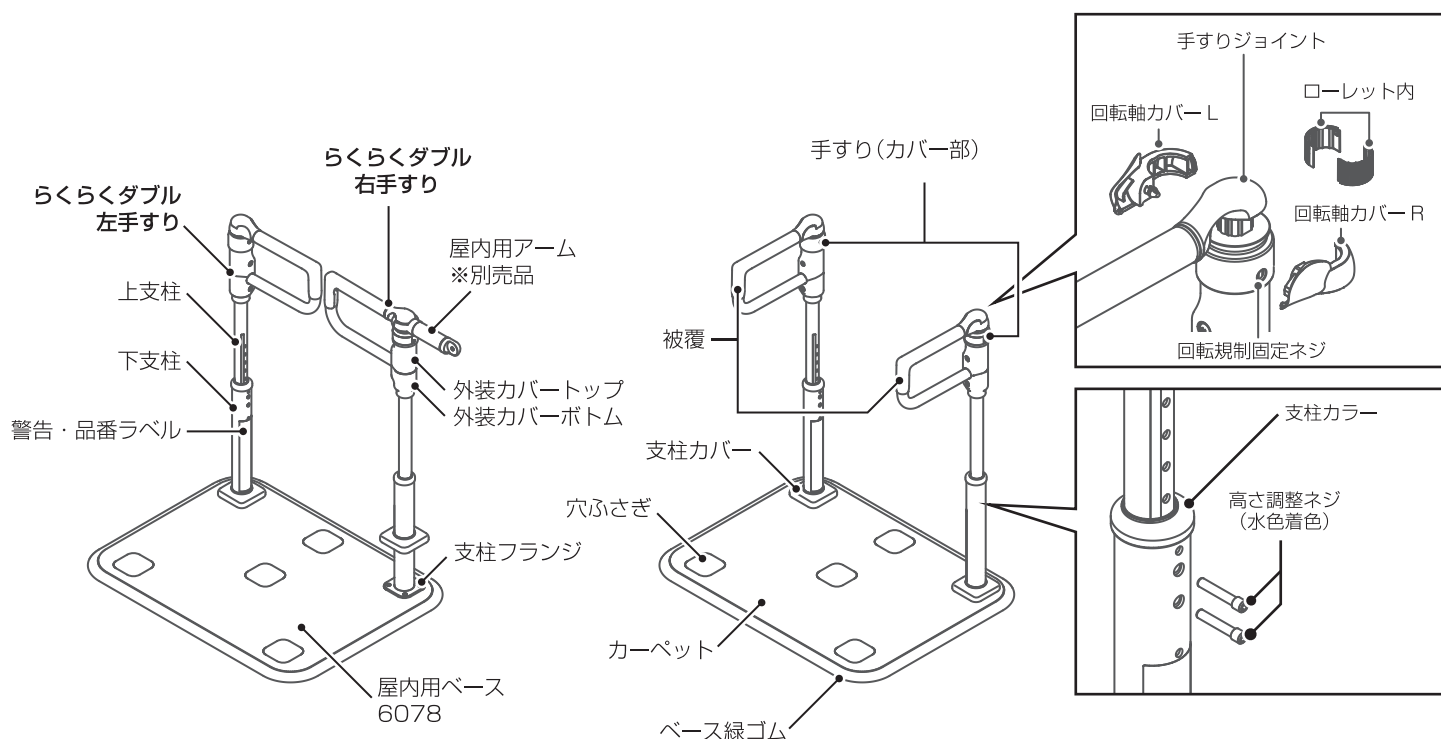


次のこともご注意ください

- お客様による分解、改造、修理はおこなわない
(性能低下による事故の原因)
- 高さ調整ネジ、支柱固定ネジは本製品に付属の専用ネジ以外使用しない
※高さ調整ネジ：水色着色
支柱固定ネジ：モカブラウン着色
- 体重 100kg を超える方は使用しない
(変形・破損や転倒によるけがの原因)
- 製品梱包用のポリ袋やシートはかぶらない
(窒息の原因)
- 火気やストーブ、ファンヒーターのそばで使用しない
(火災や火傷の原因)
- 本製品に貼ってあるシールや印字をはがさない
(事故の原因)
→利用者を危険から守るためや、故障時にすみやかに対応をするためです。
ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。
- 製品に重量物をのせたり、手すりに物をかぶせたりしない
(変形、破損による事故の原因)
- 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する
(事故の原因)
→正しく設置できていない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 手の油やハンドクリームなどで手すり部が滑るようになった場合、拭き取って使用する
- 本製品は直射日光に当たらない常温常湿の室内で保管する
(変形、破損の原因)
- 開き戸付近に設置する際は扉と手すりとの干渉や扉下とベースとの干渉を確認して設置する
(扉や製品の破損の原因)
- 定期的に各部位に破損などがないか確認する
(事故の原因)

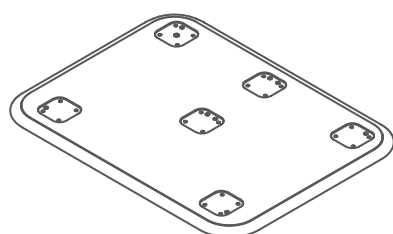


各部のなまえ



同梱品の確認

品番：PN-L80810 / 品名：屋内用ベース 6078



屋内用ベース 6078
1 枚

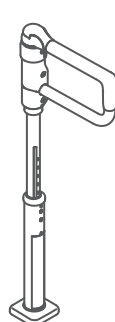


穴ふさぎ
5枚



取扱説明書 1冊
(保証書 1部)

品番：PN-L80812 / 品名：らくらくダブル左手すり



屋内用
らくらくダブル
左手すり 1本



支柱固定ネジ
(モカブラウン着色) 4本



六角レンチ 2本
(呼び 5、呼び 4)

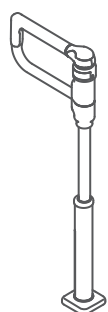


スプリングワッシャー
(内径Φ8) 4個



平ワッシャー
(内径Φ8) 4個

品番：PN-L80811 / 品名：らくらくダブル右手すり



屋内用
らくらくダブル
右手すり 1本



支柱固定ネジ
(モカブラウン着色) 4本



六角レンチ 2本
(呼び 5、呼び 4)



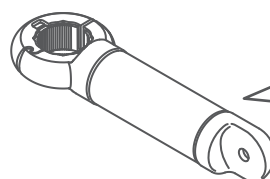
スプリングワッシャー
(内径Φ8) 4個



平ワッシャー
(内径Φ8) 4個

品番：PN-L80809 / 品名：屋内用アーム

※別売品となります。



屋内用アーム 1台



ジョイント
固定ネジセット
1本



ジョイント
固定ナット
1個



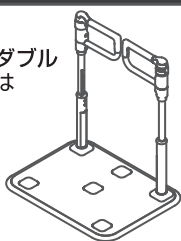
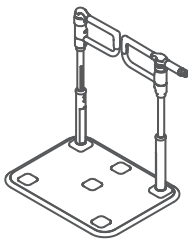
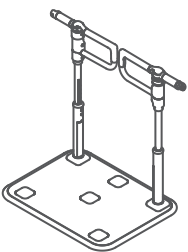
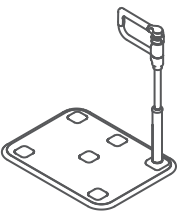
平ワッシャー
1個

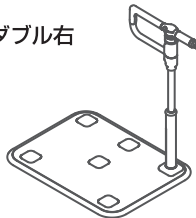
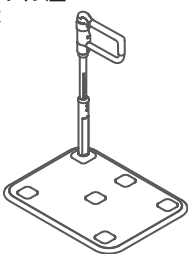
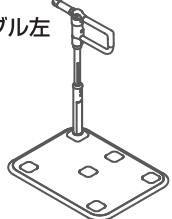


ネジキャップ
1個

※こちらは本製品(PN-L80810、PN-L80811、PN-L80812)に同梱されておりません。
屋内用アーム(PN-L80809)を使用することで別売品(P.14)“歩行サポート手すり スムーディ<屋内用>”と連結することができます。(P.8、P.14 参照)

各種部品表

セット品番	部品	数量
XPN-L80819 屋内用らくらくダブル ※屋内用アームは 組み付けない 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80811 らくらくダブル 右手すり	1
	PN-L80812 らくらくダブル 左手すり	1
XPN-L80820 屋内用 らくらくダブル 片側アーム 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80811 らくらくダブル 右手すり	1
	PN-L80812 らくらくダブル 左手すり	1
	PN-L80809 屋内用アーム	1
XPN-L80821 屋内用 らくらくダブル 両側アーム 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80811 らくらくダブル 右手すり	1
	PN-L80812 らくらくダブル 左手すり	1
	PN-L80809 屋内用アーム	2
XPN-L80822 屋内用らくらくダブル右 ※屋内用アームは 組み付けない 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80811 らくらくダブル 右手すり	1

セット品番	部品	数量
XPN-L80823 屋内用らくらくダブル右 片側アーム 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80811 らくらくダブル 右手すり	1
	PN-L80809 屋内用アーム	1
XPN-L80824 屋内用らくらくダブル左 ※屋内用アームは 組み付けない 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80812 らくらくダブル 左手すり	1
XPN-L80825 屋内用らくらくダブル左 片側アーム 	PN-L80810 屋内用ベース 6078	1
	PN-L80812 らくらくダブル 左手すり	1
	PN-L80809 屋内用アーム	1

⚠ 注意

- セット品番“XPN-L80820、XPN-L80821、XPN-L80823、XPN-L80825”は
 P.14 に記載の“歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>”と連結して使用する手すりとなっているため、
 単体では使用しないこと
 （転倒によるけがの原因）

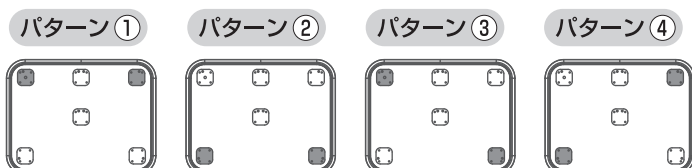
手すりを組み立てる

支柱・手すりの固定方法

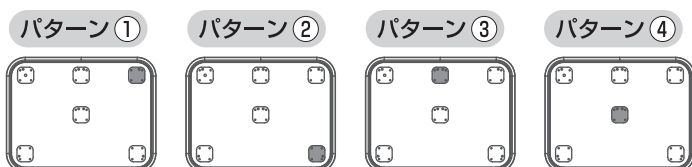
1 下支柱の取付位置を決める

支柱の取り付け位置を決め、使わない取り付け位置に穴ふさぎを取り付ける。
※2本設置の場合、穴ふさぎ1枚は予備となります。
必ずベースを踏める位置に支柱を取り付ける。

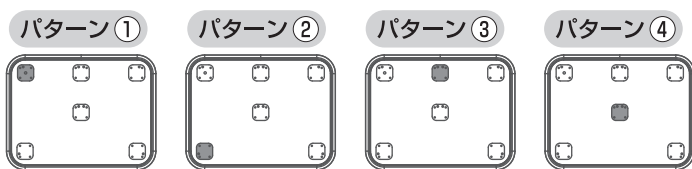
2本設置



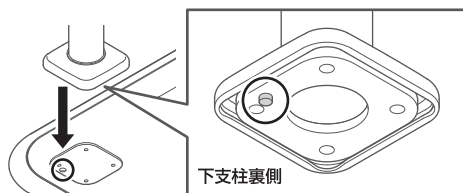
1本設置右手すり



1本設置左手すり



下支柱裏側の凸部をベースの取り付け穴に合わせて設置する



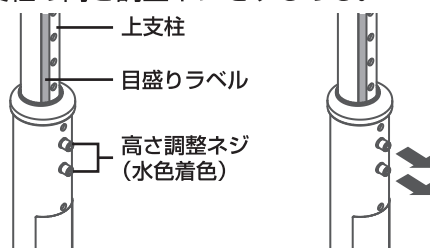
⚠ 注意

- ベースを設置する際は、ベースと床面の間で指を挟まないようにする(けがの原因)

2 各手すりの高さ調整ネジをゆるめる

高さ調整ネジは本製品に付属の専用ネジを使用する

手すり同士を連結しやすくするため、各支柱の高さ調整ネジをゆるめる。



⚠ 注意

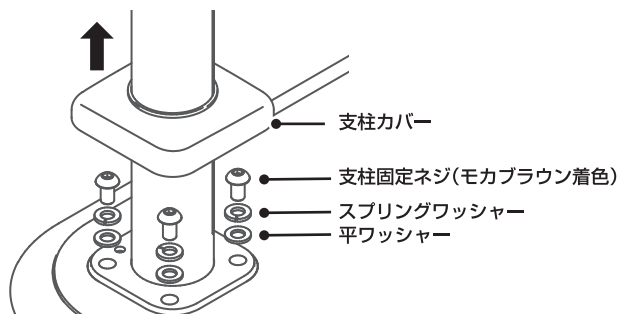
- 高さ調整ネジをゆるめる際は、上支柱を保持しながらゆるめるようにする(ネジのかじり、固着の原因)

3 ベースに下支柱を固定する

支柱固定ネジは本製品に付属の専用ネジを使用する

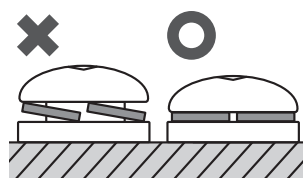
付属の六角レンチ(呼び5)を使用する

支柱カバーを持ち上げ、付属の支柱固定ネジで支柱をベースに完全に固定し(各支柱毎に4本)、支柱カバーを下げる。(締め付けトルク 5N・m 以上)



⚠ 注意

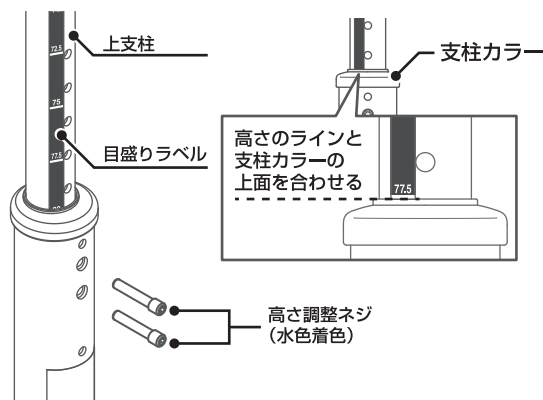
- ネジは付属工具でしっかり締め付け、確実に締まっている事を確認する(破損、転倒の原因)



4 手すりの高さを仮固定する

付属の六角レンチ(呼び4)を使用する

手すり部の高さは7段階に調整ができます。
(床面から 70/72.5/75/77.5/80/82.5/85cm)
各支柱の高さ調整ネジ2本を取り外し、上支柱に表示された目盛りで高さを合わせ、仮固定する。
(ネジを差し込み数回回転締める)



⚠ 注意

- ベースに支柱を固定した状態で高さ調整を行う(破損の原因)
- 高さ調整ネジを締め付ける際は、上支柱を持ち目盛りラベルの表示(線)を案内にネジが斜めに挿入されないようにする(ネジ穴の破損の原因)

手すりを組み立てる

支柱・手すりの固定方法

5 手すりの高さを固定する

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

各支柱の高さ調整ネジを締め付け固定する。
(各支柱毎に 2 本)
(締め付けトルク $7\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)

6 手すりの高さ調整ネジを増し締めする

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

各支柱の高さ調整ネジを締め付け固定する。
(各支柱毎に 2 本)
(締め付けトルク $7\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)

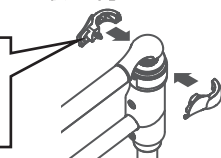
7 回転軸カバー R・L の 取り付け / 取り外し方法について

①取り外し 下図のように回転軸カバー R・L の裏側に手をかけ左右に引っ張り取り外す。



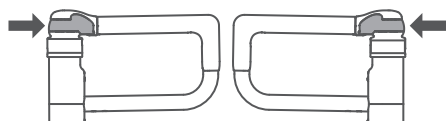
②取り付け 下図のように手すりジョイントをくわえるように取り付けてください。

突起部を“カチッ”と音が鳴るまではめ込む



8 らくらくダブルを単独使用する場合

手すりジョイントの両側に回転軸カバー R・L が付けられていることを確認してください。(下図参考)



9 らくらくダブルとスムーディ屋内用(別売品 P.14)を連結して使用する場合

付属の六角レンチ(呼び 4)を使用する

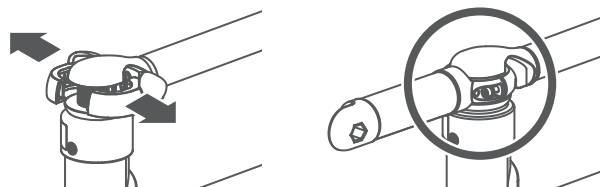
※別商品付属の六角レンチ(呼び 6)も使用する

▲ 注意

- 屋内用アームのネジを取り外す際、ジョイントキャップや樹脂ワッシャー、ネジを脱落し紛失しないようにする
- 回転固定ネジセットを締め付ける際は、ネジが支柱側に斜めにならないようにする(ネジ穴の破損の原因)



①らくらくダブルの回転軸カバー R・L を取り外し、別売品の屋内用アームのネジをゆるめ完全に取り外し、連結させたい手すりジョイントをくわえるように仮止める



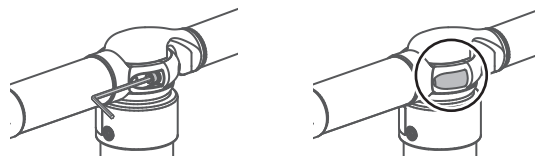
※ジョイントキャップを外す場合は切り欠きにマイナスドライバー等を差し込んで取り外してください



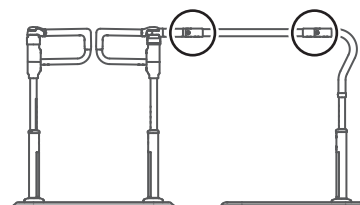
②仮止めた屋内用アームと、連結する歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>の使用セット(別冊の取扱説明書 P.13 の B,C,E,F,H,I より選定)を仮固定し連結する。

※別商品付属の六角レンチ(呼び 6)を使用

③屋内用アームのヒンジ部を固定する。
(締め付けトルク $4\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)
ジョイントキャップを取り付ける。



④仮固定していた連結部の屋内用アームと歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>を固定する。(締め付けトルク $12\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)
※別商品付属の六角レンチ(呼び 6)を使用する



⑤らくらくダブルの高さ調整ネジ、各下支柱の高さ調整ネジを増し締めする。
(らくらくダブル: $7\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)
(その他スムーディ屋内用: $5\text{N} \cdot \text{m}$ 以上)

⑥片側のみ連結している場合、連結していない手すりジョイントに回転軸カバー R・L が取り付けられていることを確認する。

組み立ては終了です。
組み立て確認(P.10)を行ってください。

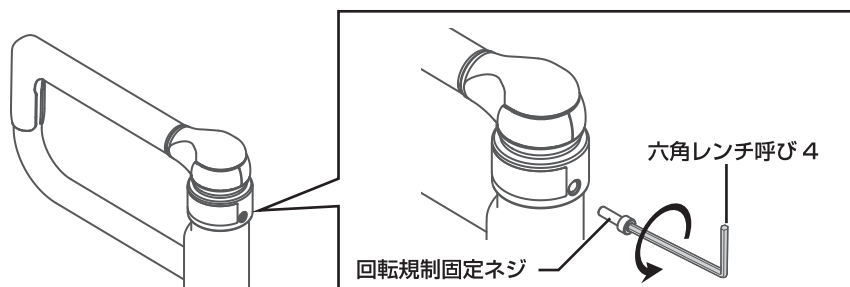
使いかた

手すりの角度変更方法

工場出荷時は「回転規制あり」に設定されています

1 手すりの回転規制を解除する

六角レンチ呼び4を使用し、下図の位置の回転規制固定ネジを取り外す

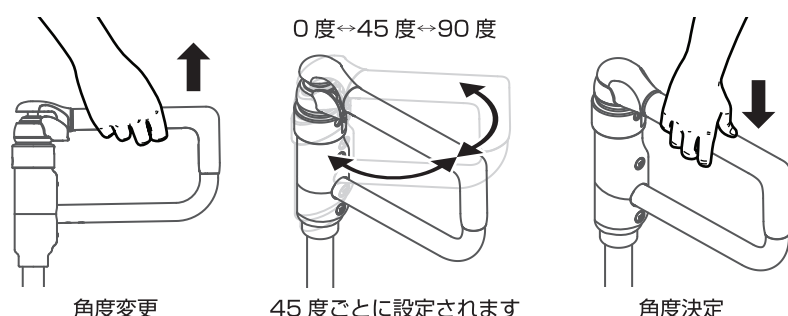


2 手すりの角度を変更する

手すり部を下図のように真上に引き上げ、手すりの角度を変更する
角度を変更した後、手すり部を真下に押し下げ角度を設定する

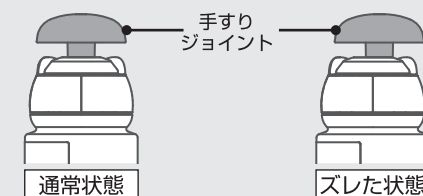
※0度⇄90度へ一気に動くと転倒するおそれがあるため、

45度で必ず一度止まるように設定しています



※手すり部を強い力で持ち上げ動かすと、手すりジョイントがズれて乗り上げ、手すり部が動かせなくなることがあります。(故障ではありません)

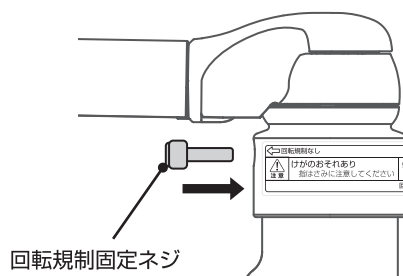
手すりジョイントがズれた場合は、通常状態になるよう軽く押し戻してください。



使用中に 角度変更する場合

3-1. 「回転規制なし」に設定する

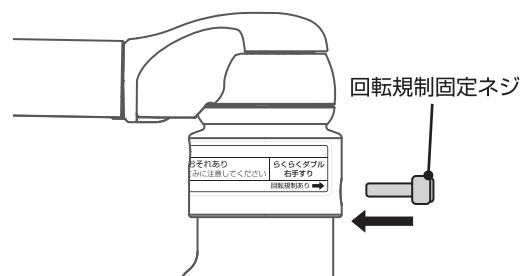
「回転規制なし」の位置に回転規制固定ネジを取り付ける
手すり部を引き上げられる状態になります



使用中に 角度変更しない場合

3-2. 「回転規制あり」に設定する

「回転規制あり」の位置に回転規制固定ネジを取り付ける
手すり部を引き上げられない状態になります

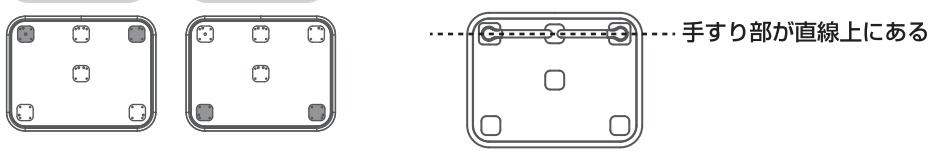
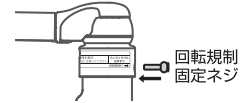
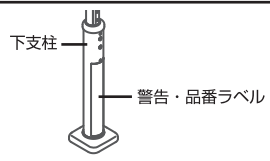
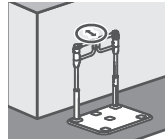
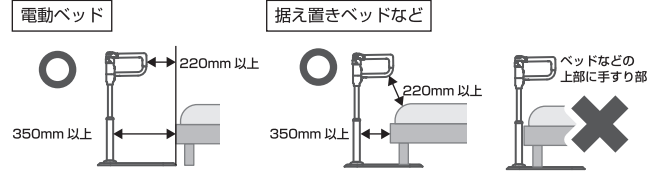
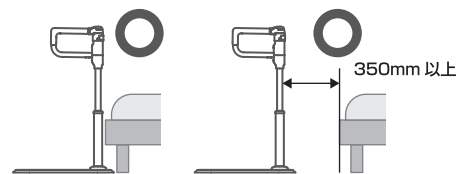


⚠ 警告

- 角度を変更したあと、手すりが回転方向に動かないことを確認する
- 手すりを引っ張って使用する恐れのある場合は、「回転規制あり」に設定する（転倒によるけがの原因）
- 手すりの角度調整をする際は、可動部に指を入れない（指はさみ、骨折の原因）

組み立て・設置確認

以下の表に従って組み立て確認を行ってください

No.	確認項目	チェック
1	ベースが床面に設置し、支柱が垂直になるように設置されている	
2	手すりを下図のように2本設置し手すり角度0度で使用する場合、2本の手すりが直線上になるよう固定されている ※2本の手すり先端が大きくズれている場合、支柱固定ネジをゆるめ手すりが直線上になるよう再度支柱固定ネジを締め付け固定する 2本設置 パターン① パターン② 例)パターン①  手すり部が直線上にある	
3	ベースと支柱の固定ネジが完全に固定されている	
4	高さ調整ネジは最後に増し締めを行い、完全に固定されている	
5	下支柱のガタつき、ネジのゆるみなど異常がない	
6	手すり角度を固定し使用する場合、回転規制固定ネジが正しい位置(回転規制あり)に固定されている	
7	手すり角度を固定せず使用する場合、回転規制固定ネジが正しい位置(回転規制なし)に固定され手すりの角度変更(0度↔45度↔90度)が正しくできる	
8	屋内用アームを使用しない場合、手すりジョイントに回転軸カバー R・L が必ず取り付けられている	
9	ネジ頭にバリが発生していない	
10	カーペットの穴ふさがりが取り付けられている	
11	ベース緑ゴムのめくれ、巻き込み、カーペットのめくれがない	
12	警告ラベルが貼り付けされている	
13	開き戸付近に設置す際は、扉と手すりの干渉や扉下とベースの干渉を確認して設置されている	
14	壁際に設置する場合、壁との間が110mm未満、または350mm以上になっている	110mm 未満 または 350mm 以上 
15	布団やベッドサイドなどで手すりを使用する場合は、手すりとのすき間に頭や腕が挟まらないよう下支柱とのすき間を350mm以上、手すり部とのすき間を220mm以上それぞれ離して設置されている 電動ベッド 据え置きベッドなど 	
16	布団やベッドサイドなどで手すりを使用する場合は、手すり部をすき間なくくっつけるか、350mm以上離して設置されている 	

お手入れのしかた

安全のため、定期的にお手入れをお願いします。

月1回以上 行ってください

- ガタつき、ネジのゆるみ・締め忘れがないか確認してください
- 部品の変形、破損がないか確認してください
- その他異常がないか確認してください

汚れがついたときに 行ってください

手すり部・支柱・ベース

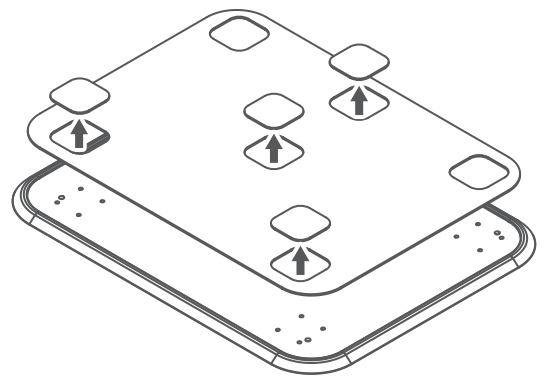
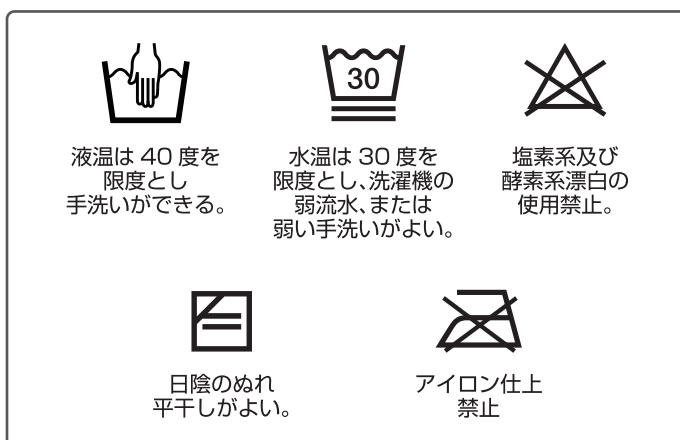
- ・中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませて水拭き後洗剤が残らないよう拭き取り、陰干しか、乾いた布で空拭きしてください
- ・アルコール消毒する際は、消毒後柔らかい布で拭き取り、10分間以上乾かしてください

⚠ 注意

- 中性洗剤を使用してください
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系洗剤などは使用しないでください
- シンナーやクレゾール等の揮発性薬品は使用しないで下さい
- たわし、みがき粉、研磨剤入りのスポンジなどは使用しないでください
- オゾン消毒はしないでください
- 尿や塩分を含んだ液体が付着した時は、お手入れ方法に従い拭き取りをおこなってください
- 高さ調整ネジを強く擦り過ぎないように、拭き取りをおこなってください
(ネジの色が布に移ることがあります。製品の安全性には問題ありません。)

カーペット

- カーペットや穴ふさぎの表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布を硬くしぼって拭き取ってください
- カーペットや穴ふさぎは洗濯することができます
洗濯については、下記洗濯表示にしたがって洗濯してください
- カーペットを取り外す際は、支柱を取り外し、カーペット・穴ふさぎを取りはずしてください



お願い

- 洗濯のあと陰干ししてよく乾かしてから使用してください
- 塩素系漂白剤による漂白はしないでください
- 布用消臭スプレーなどはカーペット裏面に使用しないでください
- 他の衣類と一緒に洗濯しないでください
- 柔軟剤を使用しないでください
- カーペットはドラム式洗濯乾燥機や乾燥機は使用しないでください

修理を依頼される前に

下記の確認と処置をお願いします。

処置後なお、異常がある場合は、納入業者へご連絡ください。

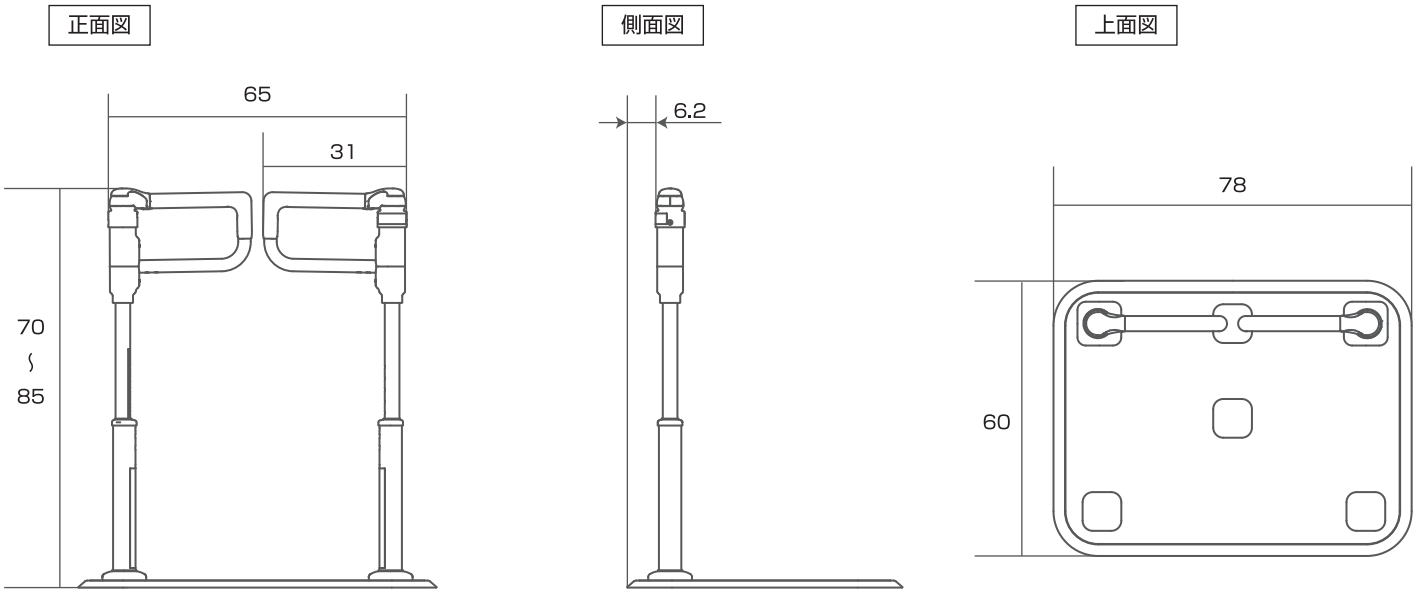
症 状	考えられる原因	処 置
使用中にガタつく	床面に段差がある	設置する床面の状況を確認してください
	高さ調整ネジがゆるんでいる	高さ調整ネジを締め付けてください
	支柱固定ネジがゆるんでいる	支柱固定ネジを締め付けてください
	屋内用アーム内側の「ローレット内」をつけ忘れている	屋内用アーム内側の「ローレット内」を付けてください
支柱がかたむいたまま戻らない	高さ調整ネジがゆるんでいる	高さ調整ネジを締め付けてください
	支柱固定ネジがゆるんでいる	支柱固定ネジを締め付けてください
	ベースが重なっている	歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>と連結している場合はベースの位置を重ならないように調整してください
	ベースが浮き上がっている	歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>と連結している場合はベースが床面に接触するようにベースの位置を調整してください
異音がする	高さ調整ネジがゆるんでいる	高さ調整ネジを締め付けてください
高さ調整ネジが締めにくい 奥まで締め付けられない	上支柱と下支柱の高さ調整穴がずれている	支柱固定ネジと高さ調整ネジをゆるめ再度支柱固定ネジの固定から順番に調整し直してください
支柱固定ネジが締めにくい	ベース穴位置と支柱固定ネジの先端位置がずれている	支柱や手すりを動かして、穴位置とネジの先端を合わせてください
カーペットや穴ふさがりが浮き上がっている	位置がずれている	位置を合わせてしっかり押さえてください
下支柱をベースに固定できない、 支柱固定ネジが締め付けられない	取り付ける向きが誤っている	ベース穴と「下支柱フランジ」裏の凸部が合うように向きを変えてください
手すりの角度が調整できない	回転規制固定ネジが「回転規制あり」の位置に取り付けられている	回転規制固定ネジを「回転規制なし」の位置に取り付けてください

仕様

製品名	歩行サポート手すり スムーディ<屋内用> らくらくダブル		
製品品番	XPN-L80819 屋内用らくらくダブル XPN-L80820 屋内用らくらくダブル片側アーム XPN-L80821 屋内用らくらくダブル両側アーム XPN-L80822 屋内用らくらくダブル右 XPN-L80823 屋内用らくらくダブル右片側アーム XPN-L80824 屋内用らくらくダブル左 XPN-L80825 屋内用らくらくダブル左片側アーム		
製品寸法 質量	幅 60× 奥行 78cm (ベース含めた寸法) 26.5kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル 幅 60× 奥行 87cm (ベース含めた寸法) 26.9kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル片側アーム 幅 60× 奥行 96cm (ベース含めた寸法) 27.3kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル両側アーム 幅 60× 奥行 78cm (ベース含めた寸法) 23.0kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル右 幅 60× 奥行 87cm (ベース含めた寸法) 23.4kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル右片側アーム 幅 60× 奥行 78cm (ベース含めた寸法) 23.0kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル左 幅 60× 奥行 87cm (ベース含めた寸法) 23.4kg (ベース 19.5kg 含む) 屋内用らくらくダブル左片側アーム		
手すり高さ	(7段階) 70 / 72.5 / 75 / 77.5 / 80 / 82.5 / 85cm		
材質	ベース・下支柱・上支柱・手すり(芯材) : スチール ベース縁ゴム : 塩化ビニル樹脂 カーペット : 合成繊維 手すり(カバー部) : アルミニウム 支柱カバー・手すり(被覆部) : エラストマー 支柱カラー : ポリプロピレン 回転軸カバー・外装カバートップ・外装カバーボトム : ABS 樹脂		
最大使用者体重	100kg		

製品寸法図 単位:cm

XPN-L80819 屋内用らくらくダブル



別売品

別売品のご案内

■ 歩行サポート手すり スムーディ<屋内用>

・品番 XPN80801～XPN80811

下記記載の連結可能なセット品番を介して、

“XPN-L80820 屋内用らくらくダブル片側アーム”

“XPN-L80821 屋内用らくらくダブル両側アーム”

“XPN-L80823 屋内用らくらくダブル右片側アーム”

“XPN-L80825 屋内用らくらくダブル左片側アーム”

と連結することができます。

連結可能なセット品番

XPN-80804、XPN-80805、XPN-80808、
XPN-80809、XPN-80810、XPN-80811

別紙の取扱説明書

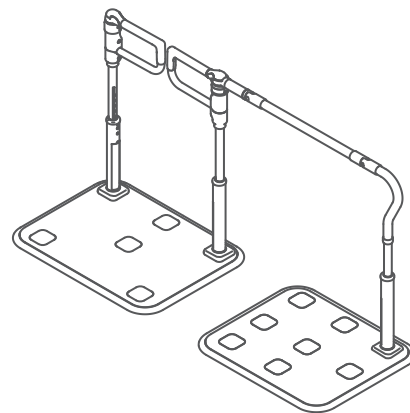
”歩行サポート手すりスムーディ<屋内用>”の使用セット

P.13 記載 B・C・E・F・H・I 参照

連結イメージ図

XPN-L80809 屋内用手すり 210+620

XPN-L80820 屋内用らくらくダブル片側アーム



製品の長期使用について

1. 本体表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を本体に表示しております。(ベース裏、支柱フランジに記載しています)。

2. 想定安全使用期間とは

一般家庭用にてご使用いただく歩行サポート手すりにおいて、標準的な条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。

※一般家庭以外(病院、施設など、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

【想定安全使用期間】 8年(一般家庭にて使用いただく場合)

3. 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

想定安全使用期間を越えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるけがなどの事故に至るおそれがあります。

保管方法

- 風通しが良く、日の当たらない場所で保管してください。
- 次のような場所に放置しないでください。
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・ 湿気の多い場所や雨の当たる場所
 - ・ 子供がいたずらをするおそれのある場所
 - ・ 段差や凹凸のある場所
 - ・ 潮風の当たる場所
 - ・ ほこりの多い場所
- あらためて使用される前には必ず各部を点検してください。

廃棄上のご注意

- 廃棄する際はできるだけ素材別に分解し、地域の分別ルールに従い廃棄してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・
修理などのご相談は

- まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
- お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年 月 日

- 保証書
お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間

- 補修用性能部品の保有期間 **5 年**
当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、
製造打ち切り後、5 年保有しています。

修理を
依頼されるとき

- まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容

- ① 品名
- ② 品番
- ③ お引き渡し日
- ④ 異常の状態（できるだけ具体的に）

- 【持込修理対象商品】
- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの
販売店が修理をさせていただきますので、おそれ
入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる
場合は、ご要望により修理させていただきます。
- 修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。
【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品・お取扱いなどのご相談は
パナソニック エイジフリー株式会社
0120-365887
●受付時間 9:00～12:00 (土、日、祝日休み)
13:00～17:00
<https://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック エイジフリー株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

©Panasonic AGE-FREE Co.,Ltd. 2022